

JST「地域ニーズ即応型」の採択について

独立行政法人科学技術振興機構(JST) 地域イノベーション創出総合支援事業 重点地域研究開発プログラム
平成20年度「地域ニーズ即応型」は、地域の中堅・中小企業のニーズ(技術的課題)を起点とし、これに公設試験研究機関等の機能により大学等のシーズをマッチングさせ、地域におけるイノベーション創出に向けた研究開発支援を行うもので、本年度から発足しました。当センターから下記の3課題が採択されました。

1. 捺染工場から排出されるVOCの削減技術
捺染工場から排出されるVOCの削減を目的として、その主要な発生源となるミネラルターペンを用いない糊剤を用いた捺染プロセスを開発する。
実施企業: 和歌山染工(株)
参画機関: 和歌山県工業技術センター、(財)かがわ産業支援財団
2. 安全な空気圧駆動による上肢パワーアシストスーツの制御方式の開発
和歌山県の高齢農作業者の重作業を低減させるためのパワーアシストスーツの制御方式を開発する。
実施企業: (株)オノテック
参画機関: 和歌山県工業技術センター、国立大学法人和歌山大学
3. 梅加工副産物から得られる機能性素材の開発
梅干生産過程で生じる副産物「梅酢」にはポリフェノールが比較的多量に存在する。「梅酢」のポリフェノールを機能性食品素材として、機能性飲料・菓子などの新たな食品を開発する。
実施企業: プラム食品(株)
参画機関: 和歌山県工業技術センター、近畿大学

掲載日付: 2009 年 02 月 19 日